

－HELICSに求められる標準化活動を参加団体の立場から考える－

標準規格に対する取り組み状況と今後の展望

MEDIS-DC の 取 り 組 み

一般財団法人医療情報システム開発センター
山上 浩志

私が発表する今回の演題について開示すべきCOIはありません。

MEDIS-DC 申請分

〔情報コード〕

- **HS001** 医薬品HOTコードマスター
- **HS005** ICD10対応標準病名マスター
- **HS013** 標準歯科病名マスター
- **HS014** 臨床検査マスター
- **HS024** 看護実践用語標準マスター
- **HS033** 標準歯式コード仕様

〔情報フォーマット〕

- **HS028** ISO22077-1:2015 保健医療情報－医用波形フォーマット－パート1：符号化規則 ※1

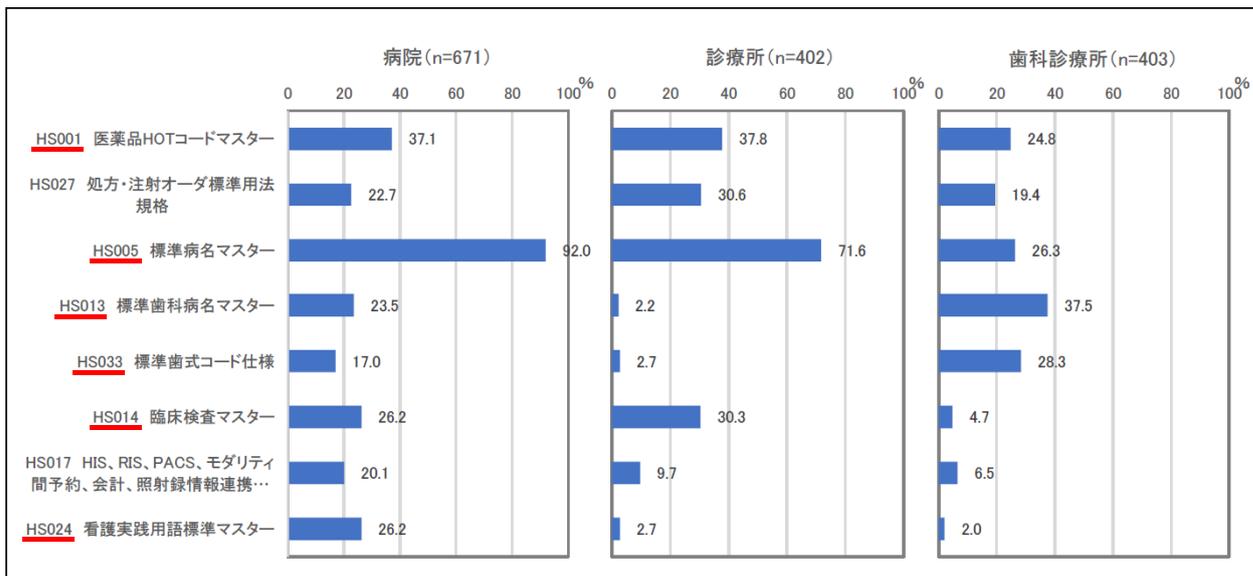
※1 **HS010** 保健医療情報－医療波形フォーマット－第92001部：符号化規則（申請団体：日本PACS研究会）より改定

情報コード	標準規格名（「」内は提出団体名）	状況	申請日	採択日	採択標準	申請書	レポート	採納書
HS001	医薬品HOTコードマスター 【「一財」医療情報システム開発センター】	採択	2002/03/04	2003/05/01	採択	PDF	PDF	PDF
HS005	ICD10対応標準病名マスター 【「一財」医療情報システム開発センター】	採択	2004/06/14	2004/12/28	採択	PDF	PDF	PDF
HS013	標準歯科病名マスター 【「一財」医療情報システム開発センター】	採択	2006/03/28	2007/03/14	採択	PDF	PDF	PDF
HS014	臨床検査マスター 【「一財」医療情報システム開発センター】	採択	2007/12/28	2008/09/01	採択	PDF	PDF	PDF
HS024	看護実践用語標準マスター 【「一財」医療情報システム開発センター】	採択	2009/01/07	2009/12/01	採択	PDF	PDF	PDF
HS033	標準歯式コード仕様 【「一財」医療情報システム開発センター】	採択	2009/08/08	2010/01/21	採択	PDF	PDF	PDF
HS028	ISO22077-1:2015 保健医療情報－医用波形フォーマット－パート1：符号化規則 【「一財」医療情報システム開発センター】	採択	2011/03/08	2011/09/28	採択	PDF	PDF	PDF

調査期間： 2020年1月27日～2月28日

回答： 医事会計システム/電子カルテシステム/一体型システムの何れかを導入している病院/診療所/歯科診療所

① コード・用語



日本における医療情報システムの標準化に係わる実態調査研究報告書（令和2年3月；株式会社シード・プランニング）
<https://www.mhlw.go.jp/content/10808000/000685906.pdf>

HS001： 医薬品HOTコードマスター

厚生労働省標準規格通知 医政発0331第1号（平成22年3月31日）

■ 概要 医療用医薬品※1 について、薬価基準収載医薬品コード、個別医薬品コード（YJコード）、レセ電算コード、JANコード※2 の対応を整理し、HOTコード（13桁）で管理

※1 薬価非収載品、再生医療等製品を含む ※2 H27年7月以降出荷製品については廃止

■ 提供形態 テキスト形式

■ 更新頻度 毎月

■ 関連したデータ・サービス提供 HOT13－販売包装単位コード対応表、HOT9－厚生労働省一般名処方マスター一般名コード対応表

年度 (末時点)	HOT13		HOT9		
	収載語数	増分	収載語数	増分	
2017年3月31日版	H28	51,456	-	28,633	-
2018年3月31日版	H29	52,213	757	29,911	1,278
2019年3月31日版	H30	54,977	2,764	31,537	1,626
2020年3月31日版	H31/R1	56,284	1,307	32,482	945
2021年3月31日版	R2	59,013	2,729	33,884	1,402

HS005 : ICD10対応標準病名マスター

厚生労働省標準規格通知 医政発0331第1号 (平成22年3月31日)

■ **概要** ICD10、レセ電算コードを対応づけた病名表記を収載した「病名基本テーブル」、前・後置語を収載した「修飾語テーブル」、索引用語を収載した「索引テーブル」で構成

■ **関連する他の規格等**

支払基金 レセプト電算処理システム基本マスター「傷病名マスター」「修飾語マスター」

■ **提供形態** テキスト形式

■ **更新頻度** 年2回 (6月、1月) + 臨時リリース (例: COVID-19)

■ **関連したデータ・サービス提供** CANDLS/CANDLS-WEB、標準病名ハンドブック

年度 (末時点)	基本語		索引語		修飾語		
	収載語数	増分	収載語数	増分	収載語数	増分	
V4.00	H28	25,294	-	102,558	-	2,269	-
V4.03	H29	25,678	384	104,167	1,609	2,316	47
V4.06	H30	25,846	168	104,683	516	2,332	16
V5.02	H31/R1	26,161	315	106,181	1,498	2,389	57
V5.05	R2	26,647	486	107,399	1,218	2,399	10

HS013 : 標準歯科病名マスター

厚生労働省標準規格通知 政社発1221第1号 (平成23年12月21日)

■ **概要** ICD10対応標準病名マスター (HS005) に収載された基本語・索引語のうち、歯科分野で用いられる語を抜粋・収載

・ 修飾語については、ICD10対応標準病名マスターの「修飾語テーブル」を共用

・ 「歯科病名基本テーブル」には歯科固有なフィールドが設けられ「ICD-DA」分類コードのほか、歯科の診療録及び診療報酬明細書に使用できる略称 (例: Per、Pul、MT) を収載

■ **提供形態** テキスト形式

■ **更新頻度** 年2回 (6月、1月) + 臨時リリース

年度 (末時点)	基本語		索引語		修飾語		
	収載語数	増分	収載語数	増分	収載語数	増分	
V2.00	H28	3,036	-	13,197	-	2,269	-
V2.03	H29	3,070	34	18,282	5,085	2,316	47
V2.06	H30	3,104	34	18,502	220	2,332	16
V3.02	H31/R1	3,083	-21	19,226	724	2,389	57
V3.05	R2	3,108	25	19,341	115	2,399	10

HS033：標準歯式コード仕様

厚生労働省標準規格通知 医政発1016第1号・政統発1016第1号（令和元年10月16日）

- **概要** 歯式を電子的に取り扱うためのコードの構造とそれを構成する各要素を規定
 - ・標準歯式コードは4要素で構成：「歯種パート」（4桁）、「状態パート」（1桁）、「部分パート」（1桁）、「予備パート」（3桁）

- ・歯式コード（先頭3パートを連結した6桁）と歯式名称の例※1

※1 ハイフン記号（“-”）は便宜上挿入

1015-7-0 “右側上顎第2小臼歯 - 部インプラント - 部分指定なし”

1016-2-1 “右側上顎第1大臼歯 - 欠損歯 - 遠心頬側根”

106C-0-0 “左側上顎乳犬歯近傍過剰歯 - 現存歯 - 部分指定なし”

■ 関連する他の規格等

- ・支払基金 レセプト電算処理システム基本マスター「歯式マスター」
- ・HS034「口腔診査情報標準コード仕様」

■ 提供形態 Excelブック形式

■ 更新頻度 不定期

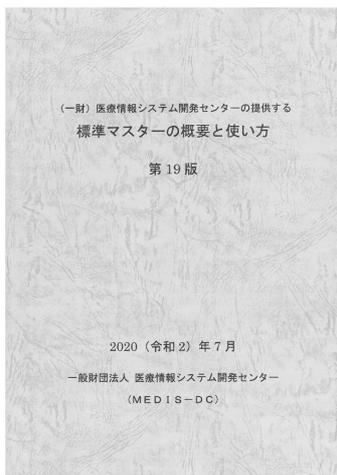
V1.0

V1.0

年度 (末時点)	歯式コード	
	収載語数	増分
H31/R1	915	-
R2	915	0

（一財）医療情報システム開発センターの提供する 標準マスターの概要と使い方

https://www.medis.or.jp/7_kikaku/hanbai/file/DL_master^ver19_202007.pdf



目次

1. 概要	1
1.1 本小冊子の目的	1
1.2 MEDIS-DC標準マスターの特徴	2
1.3 標準マスターの入手方法	2
1.4 利用上の注意	2
付録A. 標準マスター使用許諾申請書（様式1）	3
2. 病名マスター	4
2.1 概要	4
2.2 構成テーブルの概要	6
2.2.1 マスター構成ファイル	6
2.2.2 テーブル概要	6
2.3 病名マスターの運用補助ツール	8
2.4 利用方法	9
2.5 メンテナンス	9
付録B. 診療科別サブファイル【Med-EX】	10
付録C. 標準病名賢索ライブラリ【CANDLS】	12
3. 歯科病名マスター	14
3.1 概要	14